

八福神～8つの町（地区）と共に生きる～

本校の学校教育目標

「自分の可能性を信じ自ら学び自ら鍛える生徒の育成」

佐世保市立宮中学校 学校通信
第7号（令和3年9月21日発行）
発行責任者 熊本 直樹



県内で佐世保市のみが緊急事態（レベル5）継続！

「感染症の終息具合が鈍い」という理由で佐世保市のみが緊急事態宣言継続（9月30日（木）まで）となりました。したがって本市の小・中学校のみが、学校行事や部活動等で何かしらの制限を受けることとなります。本校も12日から19日に延期していた体育大会を更に再延期し、10月17日（日）といたしております。ただし、これもレベル次第ということになります。先行きのはっきりしない計画で申し訳ありません。重ね重ねご迷惑をおかけいたします。通常日に「体育の授業」という形で行う方法も考えましたが（数校がこの形で実施するようです）、この場合、原則的に無観客となります。仕方ないことなのでしょうが、何だか味気ない感じがします。感染症対策を施しながらの中ですので、練習にも制約がありますが、それでも生徒が練習した成果を見ていただきたいという思いと、保護者・地域との一体感がある行事がすべて中止になっている今だからこそ、ぜひ日曜日開催をしたいという考えから、このような計画といたしました。ぜひ真意をご理解いただきご協力をよろしくお願いいたします。

夏休み明けいきなりでしたが…実力テストを実施いたしました。

9月1日・2日に1、2年生のみ実力テストを実施いたしました（事情により理科は別日に実施）。さて、お子様の出来はいかがだったでしょうか。本校は学年の人数が少ないので「相対評価」

（他の人との成績と比較して評価すること）はあまり意味を成しません。例えば、学級の平均点より上か下かというような評価（載せておいていうのもなんですが…）は参考にならないということです。

大事なことは「自分自身の納得度」です。それが最も大切な評価、つまり「自己評価」です。自分なりの目標を立て、その達成に向けて努力し、結果をみて振り返り（自己評価）を行い、それを次の機会に活かす。テストだけでなく学校の活動はすべてこのサイクルで成立しています。学校は「小さな成果」を積み重ねていく場所です。テスト1つとっても、全体だけにこだわらず、1教科でも1領域でも、「ここは十分できた」というところを増やしていくことです。その積み重ねがきっと大きな成果につながります。

第2回実力テスト 各平均点

	国語	社会	数学	理科	英語	計
1年	54.3	52.6	68.1	72.7	54.4	302.1
2年	44	34.6	59.1	36.5	52.7	227

はちまん爺のツイート日記

※プライバシー保護の観点より、写真等の掲載については遠景のもの等を選択しております。

観るのを楽しみにしていた体育大会がまた延期になって拍子抜けしている「はちまん爺」じゃ。さて、東京町田市の小学校で起こった小6女児の自殺は、生徒用に配布された端末によるチャットの書き込みが引き金だったと報道されていた。しかも授業中にも行われていたようだ。学校の責任は免れんだろうな。この出来事により、機器使用のルールに関する教育や情報モラルの取り扱いが問題視されておる。確かにそれらは必要不可欠な指導に違いない。しかし、これだけ日に日に機器の性能が上がり、使える機能が多種・多様化していく今、教師のスキルがそれに追いついていけるのかという懸念があるな。それに悪いのはツール自体ではなかろう。例えどんなに便利で役に立つ機能を備えても、使う人間の心がずさんでおれば悪用ツールにしかならん。携帯であれ、ゲーム機であれ、タブレットであれ、そこに悪が生まれる背景には人の心の弱さ・邪悪さが垣間見える。学校の成すべきことは「心の教育」であると再認識する必要があるな。